



Facebookページ

朝霞市役所

# あさぐる！

～あさかの未来を考える職員ワーキンググループ～



## 市の若手職員が、若手ならではの発想で 真剣にあさかの未来について考えます！

### 発信する内容

1. ワーキンググループの活動内容の報告
2. 市内関係団体との意見交換
3. メンバーの関心事のコラム など

平成27年  
8月20日  
発信開始

より多くの人があさかに興味を持ってもらえる

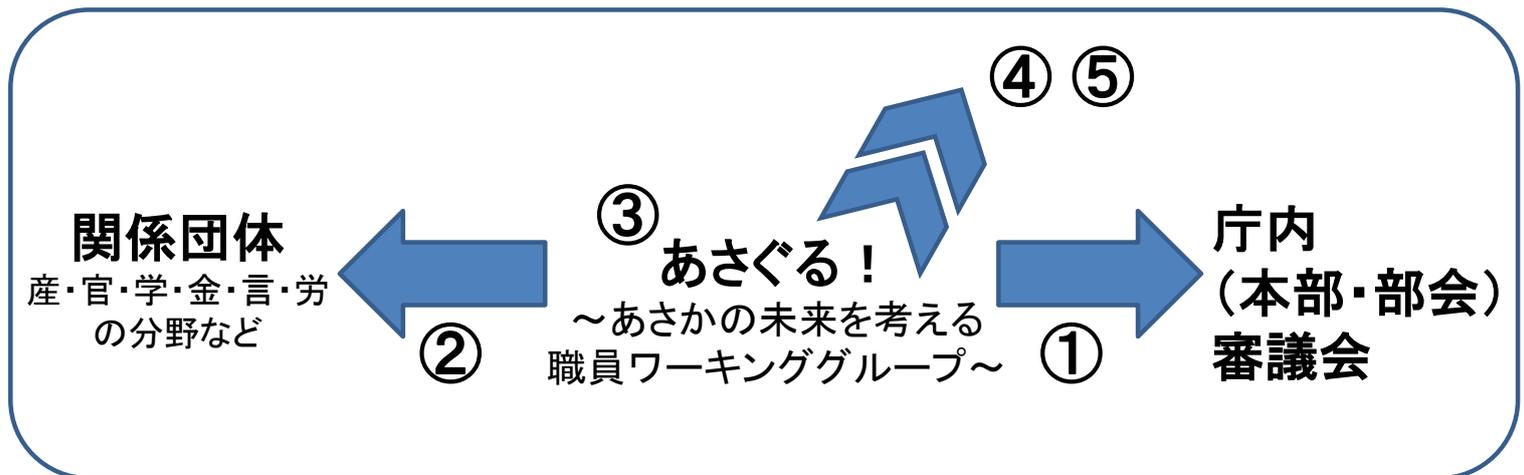
企画を検討中です！**ご意見・ご感想お願いします！**

[https://www.facebook.com/  
asakacity.mirai](https://www.facebook.com/asakacity.mirai)



お問合せ 朝霞市役所 政策企画課  
電話 048-463-3089 (直通)  
FAX 048-467-0770

# あさかの未来を考える職員ワーキンググループ 活動概要



## 活動目的

本ワーキンググループは、朝霞市のまち・ひと・しごと創生の一環として、若手職員の発想と行動力を活かして、あさかの未来について考える組織である。活動を通じて、施策への反映や関係団体等との交流を深める。また、活動については情報発信を行い、多くの人があさかに関心を持ってもらえるよう努める。

## 活動内容

- ① 提言・提案
- ② 関係団体との意見交換
- ③ 「あさかの未来を考える」ワークショップ
- ④ 「あさかの魅力を探る」(市内の現場)
- ⑤ フェイスブック等による情報発信

## あさぐる！ 関係団体との意見交換 実施団体、予定団体等

	実施団体、予定団体	今後
産	青年会議所(9月24日)、商工会青年部(調整中)	ほっと茶屋あさか
官	南西部地域振興センター(9月10日)	
学		東洋大学、こども大学
金	日本政策金融公庫(9月8日)、埼玉りそな銀行(9月9日)	
言	すまいるFM(9月24日)	
労	ハローワーク朝霞(8月27日)	朝霞地区シルバー人材センター、ホンダ
その他関係団体	朝霞市文化・スポーツ振興公社(10月8日)	朝霞市社会福祉協議会、不動産

意見交換先：株式会社 日本政策金融公庫

## 1. 所管する仕事（活動）の内容

- ・ 日本政策金融公庫の基本理念は、国の政策の下、民間金融機関の補完を旨としつつ、社会のニーズに対応して、種々の手法により、政策金融を機動的に実施することである。
- ・ 日本政策金融公庫における国民生活事業の取組内容のうち、まち・ひと・しごと創生向けに考えられるメニューは、①地域経済の活性化や雇用創出が期待できる「創業」分野への包括的な支援、②地域や社会の課題をビジネスの手法で解決する「ソーシャルビジネス」の担い手の支援などである。その他、「国の教育ローン」を通じて、地域の子どもの就学支援も行っている。
- ・ 日本政策金融公庫の特徴として、事業資金の融資先は、小口の無担保融資が主体であり、小規模事業者が中心である（約9割が従業員9人以下の事業者）。

## 2. 所管する仕事（活動）分野についての朝霞市の状況や動向、立ち位置等について

- ・ 事業資金の融資先は埼玉県内34,000件のところ、朝霞市内550件（割合1.6%）である。融資先の業種では、製造業12%（県内9%）、医療・福祉業8%（県内6%）が高いことが特徴と言える。
- ・ 「創業」への支援について、朝霞市内の創業融資数は、平成24年度が17企業、平成25年度が25企業、平成26年度が24企業である。また、朝霞市起業家育成支援センターを平成26年10月に構築し、市や市商工会、市内金融機関とともに日本政策金融公庫は連携して創業希望者、創業者の支援に取り組んでいる。創業ニーズは高いという感触である。
- ・ 「国の教育ローン」について、朝霞市の利用者数は県内で上位5位に入るほど多い。朝霞市は大学進学率が高い地域であることが背景である。

## 3. 所管する仕事（活動）分野で、あさかを良くする、あさかを魅力的にするために、朝霞市役所は何かできることがあるのかについて

- ・ 「ソーシャルビジネス」について、市ではNPOなどの市民活動支援として市民活動支援ステーションを設置しており、日本政策金融公庫が収益事業を行うNPO法人等に対する融資を行っていることを周知することで、市民活動の活性化につながる可能性がある。

意見交換先：株式会社 埼玉りそな銀行

## 1. 所管する仕事（活動）の内容

埼玉りそな銀行は、地方公共団体のまち・ひと・しごと創生を支援するため、多数のソリューションをラインナップしている。具体的な事例を中心に下記について紹介があった。

- －地域への定住促進に向けた住宅ローン：鶴ヶ島市と定住促進に向けて協定を締結
- －空き家・中古住宅対策：移住・住みかえ推進機構のマイホーム借上げ制度に、独自のセカンドライフローンを組み合わせることで、マイホームを貸したい人と借りたい人のマッチングを促進
- －協働のまちづくり支援：志木市の市民参画ワークショップをコーディネートした実績有り

## 2. 所管する仕事（活動）分野についての朝霞市の状況や動向、立ち位置等について

- －定住促進：朝霞市は転入転出のいずれも多く、定住促進は朝霞のまち・ひと・しごと創生にあたっての重要なポイントの一つである。
- －住宅ローン：志木駅前に住宅ローンご相談専用拠点を構えているため、朝霞支店への直接の申し込みは少ないが、部材費、人件費の上昇に伴い、朝霞の住宅の価格も上昇傾向にある。
- －基地跡地：関東近郊でこれだけ広大な用地は無い。現朝霞中央総合病院、積水化学跡地、旧四小跡地含め、土地の利用計画については、引き続き今後の動向に注目している。
- －内間木地区：肌感覚では流通業が多い。物流の拠点として倉庫用地に関する問合せも多い。
- －中古物件：都内では依然としてリノベーションのニーズは高いが、朝霞では中古物件として販売するよりも、土地を細分化して新築に立替えるケースが多く、ニーズにもマッチしている。

## 3. 所管する仕事（活動）分野で、あさかを良くする、あさかを魅力的にするために、朝霞市役所は何かできることがあるのかについて

- －定住促進住宅ローン：補助金や金利優遇に代わるインセンティブを提案できる余地がある。
  - －市民参画コーディネート：朝霞市ではオリンピック・パラリンピックを市民参画の下でブランドデザインしていくことを検討中であり、市民参画ワークショップ等で連携できる余地がある
  - －デマンド交通（外部連携）：学童への移送でより効率的な手段として活用の余地がある。
- 意見交換を通して得られた情報は庁内の関係部署に展開し、連携の可能性等について検討する。